

志賀自然教育研究施設年報

平成4（1992）年2月～平成5（1993）年1月

I 運営委員会

平成4年4月24日（学部会議室）

運営委員会内規の改正について

附属教育実践研究指導センターとの連携がいつそう深められるよう、相互の運営委員会へ参加可能とするための改正である（改正内規は別掲）。

志賀施設の将来計画について

従来までの計画案を見直し、新たに4研究分野の構想で計画を模索。素案について討議され、さらに検討、修正を加えて再提案となった。

その他（報告）

信大借地分に隣接して設置されている野外トイレ（県有施設）の改築が決定した。

教育実践研センターと図書館の運営委員に渡辺、和田が参加することになった。

平成4年5月20日（学部会議室）

平成3年度事業及び決算報告、平成4年度事業計画及び予算案審議

原案どおりそれぞれ承認され、例年のように予算補助を依頼することになった。

研究施設の改組・拡充計画について

前回の修正原案について討議し、大枠で認めた上で今後は小委員会を設置して、計画案の立案、作成の取りまとめを行うことになった。

小委員会メンバー（敬称略）：和田・渡辺（隆）・関谷・谷本・渡辺（敏）と別府（オブザーバー）

その他

運営委員会に常任委員会を設けることについて検討することになった。

平成4年9月16日（学部会議室）

運営委員会内規の改正について

常任委員会を置くための改正であり、厚案どおり承認され総務委員会へ付託した。

改組・拡充計画について

小委員会で作成した計画案について種々審議され、原案どおり承認された。今後の取扱いについては、概算要求のための事務日程が早まったので学部長へ一任した。

その他

野外トイレ改築に続き、観察路の補修も決まりそれぞれ着工された。

この会議は志賀施設で行うことが恒例だが、今回は重要案件があったので学部で開催されたため、10月5日に希望者（学内公募）による施設見学を行った。

〔運営委員〕任期：平成4年4月～6年3月，○印は常任委員，以下，いずれも敬称略

（国）梅原恭則，（社）小俣盛男，（数）○松岡楽，（理）中村浩志，（音）久保信男，（美）関谷俊行，（体）○渡辺敏明，（技）嵩哲夫，（家）粟津原宏子，（英）○谷本泰子，（特）小島哲也，（幼）○山田敏，（教）山口恒夫，（心）野口宗雄，（施設長）○和田清，（専任）○渡辺隆一

〔事務局〕丸山事務長，吉原同補佐，金井管理係長，大日方同主任，米倉会計係長，柿崎同主任，宮入学生係長ほか

〔施設職員〕別府桂，春日基文

II 自然教育園の整備

自然教育園の整備を重点課題に取り組んできたところ、各方面から多大なご支援をいただいた。特記すべきことは以下のものであり、関係機関及び各位に厚く御礼申し上げたい。

(1) 野外トイレと観察路整備

このトイレは、長野県事業によって昭和41年に造成されたものである。信大借地外とはいえ、下の広場から10mほど奥まった林内に設置されていたので、蓮池と木戸池の間として来園者や歩行者には好都合な場所であった。旧式の汲み取りであったり、管理もなかなか徹底できずにいたものを関係機関のご理解で今回の改築となった。移築場所は二転三転としたが、結局、これまでの林内から下の広場の端へ出し、簡易水洗で車椅子用も併設されている。

観察路の整備については、長池の畔を巡る“池めぐりコース”が増水によって冠水が多く、池の景観保護という立場からも修復を希望していたところ、志賀山研究路と共に補修していただいた。同時に、トイレのある下の広場から長池畔まで車椅子が使用できるようになったので、身体に障害のある方々をはじめ弱者の人達へも開かれた自然教育施設として新たな時代を迎えようとしている。

志賀山研究路は、昭和40年、長野県によって信大研究路の延長先に造られた。一部、昭和61年秋の災害復旧のような大掛かりな工事はあったが、他の通常管理は信大分と併せ施設職員によってなされてきた。既に、手に負えない危険箇所もいくつか出ていた折でもあり、20数年ぶりの全面補修であった。

観察路沿いの要所には解説板が設置されているが、これも文字が消えたり、支柱が朽ち果て破損が著しかったので全て廃棄され、今回の整備で新規に10基が生まれ変わった。今までと同様に、解説文は施設職員が担当した（別掲参照）。

(2) コマクサ園の復元

園内のロックガーデンは、高山植物や一般野草の比較研究と来園者への生きた教材園として設置されたものである。しかし、耕作地と同じで自然遷移とは逆らった施設であるから維持管理はまことに難しい。特に、コマクサ園は大町山岳博物館の指導で昭和39年に造園された後、何回かの手入れはされてきたがいつ頃からか鉢栽培となって生き続けてきた。信州大学のシンボルでもあるし何とか復元をと願っていたところ、幸いにも環境庁国立公園管理官千村勝哉氏のお骨折りで群馬県嬭恋村万座温泉千川文次氏と同六合村入山山口雄平氏から、造園のご指導と資材及びコマクサ苗の提供を受けることができた。掘り起こしてみると、既に当時の植土の上に数センチから10センチもの土砂が堆積し、しかもその中に木の根が無数にはびこっている状態を見るにつけ、時間の流れと大自然の威力をまざまざと感じさせられたところである。

III 研究と教育活動

(1) 研究活動

総合科研（東京農工大小倉紀雄教授代表、生物圏保存地域における生物学的多様性の保全に関する研究）で園内調査。大阪市立大院生の岩崎文紀君は、おたの申す平の針葉樹林で延1年以上にわたって鳥類生態調査を進めていたが残念ながら中止となった。

(2) 学部志賀実習

例年行われている教員養成課程学生宿泊研修は、今回から土・日曜をさけた2泊3日で実施することになった。

| | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1班：6月29日～7月1日 | 2班：7月1日～3日 | 3班：7月6日～8日 |
| 4班：7月8日～10日 | 5班：7月13日～15日 | 6班：7月15日～17日 |
| 7班：7月20日～22日 | 8班：7月22日～24日 | 9班：7月27日～29日 |
| 10班：7月29日～31日 | | |

(3) 大学公開講座「郷土の自然を探る」

6月28日 長野市周辺の自然観察 7月19日 志賀高原の自然観察

8月23日 湯の丸山の自然観察

(4) 学部授業

「自然教育概論」後期2単位で開講

(5) 環境教育セミナー

3月7日 渡辺隆一氏による「熱帯林の現状」

(6) 研修会ほか

8月21日～23日 大学公開講座（カウンセリング・ワークショップ，教育心理学科主催）

8月26日～27日 長野地区国立学校・機関合同中堅者職員研修会

9月2日～3日 平成4年度信州大学学生関係業務担当職員研修会

(7) 主な観察会

7月14日 カヤノ平「森林ふれあい祭り」（飯山営林署主催）

7月18日～19日 カヤノ平自然観察会（木島平村主催）

8月1日 志賀自然教育園観察会（志賀高原自然教室主催）ほか多数

Ⅳ そ の 他

信大施設より古くから長池畔にあった志賀山荘（公立学校共済寮）が、既に営業は止め無人とはなっていたが平成4年の秋に全面撤去され更地となった。当施設にとっては、ひと丘越えた両隣のよしみでずいぶんとお世話いただいた。特に、不便な僻地にあつて困難な創設期間を側面から援助、協力され、また丸池水道の分水については核となつて水道誘致に尽力された。従つて、今年度から丸池関係学校水道組合から脱退となり、残る日本医大・京大両ヒュッテと共に三者で組合を存続させることになった。（文責 和田 清）

平成3年度資料館入館者数の集計表

表1 来館団体の種類

| | 県 外 | | 県 内 | | 計 | |
|---------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|--------------|
| | 団体数(%) | 人 数(%) | 団体数(%) | 人 数(%) | 団体数(%) | 人 数(%) |
| 小 学 校 | 9 (12.0) | 530 (10.7) | 4 (28.6) | 152 (15.7) | 13 (14.6) | 682 (11.5) |
| 中 学 校 | 15 (20.0) | 1,837 (36.8) | 3 (21.4) | 622 (64.3) | 18 (20.3) | 2,459 (41.2) |
| 高 等 学 校 | 9 (12.0) | 1,307 (26.2) | — | — | 9 (10.1) | 1,307 (21.9) |
| 大 学 | 8 (10.7) | 146 (2.9) | 1 (7.1) | 48 (5.0) | 9 (10.1) | 194 (3.3) |
| 一 般 | 34 (45.3) | 1,168 (23.4) | 6 (42.9) | 146 (15.0) | 40 (40.9) | 1,314 (22.1) |
| 計 | 75(100.0) | 4,988(100.0) | 14(100.0) | 968(100.0) | 89(100.0) | 5,956(100.0) |

表2 団体の県内外の比率（％）

| 団体の種類 | 小 学 校 | 中 学 校 | 高等学校 | 大学,短大 | 一 般 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 県 内 | 30.8 | 16.7 | 0.0 | 11.1 | 15.0 | 15.7 |
| 県 外 | 69.2 | 83.3 | 100.0 | 88.9 | 85.0 | 84.3 |

表3 月別参観者数

| 月 | 個人 (%) | 団 体 | | 計 (%) |
|----|--------------|-----------|--------------|--------------|
| | | 団 体 数 (%) | 人 数 (%) | |
| 5 | 110 (2.7) | 5 (5.6) | 903 (15.2) | 1,013 (10.1) |
| 6 | 164 (4.1) | 15 (16.9) | 340 (5.7) | 504 (5.1) |
| 7 | 728 (18.1) | 36 (40.4) | 2,707 (45.4) | 3,435 (34.4) |
| 8 | 2,645 (65.5) | 26 (29.2) | 1,600 (26.9) | 4,245 (42.5) |
| 9 | 268 (6.6) | 4 (4.5) | 246 (4.1) | 514 (5.1) |
| 10 | 122 (3.0) | 3 (3.4) | 160 (2.7) | 282 (2.8) |
| 計 | 4,037(100.0) | 89(100.0) | 5,956(100.0) | 9,993(100.0) |

平成3年度志賀施設月別宿泊利用人数

| 区 分 | | 年・月 | | 3年 | | | | | | | | | | | | 4年 | | | 計 |
|-----------------------|-------|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-------|----|--|--|---|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | |
| 利 用 人 数 | 学 内 | 10 | 0 | 0 | 5 | 118 | 0 | 25 | 3 | 34 | 88 | 138 | 133 | (人) | 552 | | | | |
| | 合宿研修等 | 0 | 0 | 65 | 240 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 337 | | | | |
| | 学 外 | 0 | 0 | 69 | 17 | 13 | 0 | 17 | 0 | 4 | 48 | 79 | 32 | | 289 | | | | |
| | 計 | 10 | 0 | 134 | 262 | 163 | 0 | 42 | 3 | 38 | 136 | 217 | 165 | (1,194) | 1,180 | | | | |
| 宿 泊 延 人 数 | 学 内 | 10 | 0 | 0 | 5 | 204 | 0 | 25 | 3 | 36 | 171 | 234 | 245 | | 933 | | | | |
| | 合宿研修等 | 0 | 0 | 130 | 482 | 62 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 674 | | | | |
| | 学 外 | 0 | 0 | 85 | 17 | 13 | 0 | 17 | 0 | 11 | 114 | 166 | 94 | | 517 | | | | |
| | 計 | 10 | 0 | 215 | 504 | 279 | 0 | 42 | 3 | 47 | 285 | 400 | 339 | (2,108) | 2,124 | | | | |

() 内は平成2年度の数